



大人のトラウマを診るということ

こころの病の背景にある傷みに気づく

青木省三、村上伸治、鷲田健二＝編

定価3300円(本体3000円+税10%)

医学書院 ☎03-3817-5600

発達障害とともに、今日の精神科診療では避けて通れないトラウマ。しかし、見えただけに気づかれにくい。本書では、いわゆる疾患に限らず、生きづらさを訴える幅広い症例とそれにまつわるトラウマ、そしてそこへの処方について数多くのエピソードが紹介される。たとえトラウマそのものではなくても、治療にあたる者がその存在に目を向け、寄り添っていくことで結果は異なってくるという。その様子はほんのり温かい。

バブル

山口ミルコ＝著

定価1760円(本体1600円+税10%)

光文社 ☎03-5395-8172



筆者はバブル期に就職し、会社を愛し、仕事に没頭してきた。が、ある時、その路線から外れ、自分を、取り巻く世界を見直すこととなり愕然とする。自分で選んできたように思っていた生き方も、時代に翻弄されていたことに気づく。同じ時代を経た者ならどこかに自分の姿を見るはず。

こころを使うということ

今求められる心理職のアイデンティティ

藤山直樹、笠井清登＝編著

定価3850円(本体3500円+税10%)

岩崎学術出版社 ☎03-5577-6817



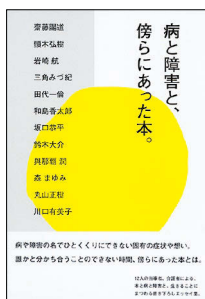
東大での人材育成プログラムの連続講義から、最前線で活躍する精神科医・心理臨床職の講義を採録した一冊。ノウハウを得る、というよりも、専門家たちの「こころを支えるにあたって、どうこころを使うか」についての思いを味わう仕様になっている。

病と障害と、傍らにあった本。

齋藤陽道、頭木弘樹、岩崎航、三角みつ紀、田代一倫、和島香太郎、坂口恭平、鈴木大介、與那覇潤、森まゆみ、丸山正樹、川口有美子＝著

定価2200円(本体2000円+税10%)

里山社 ☎044-712-4100



病や障害と向き合い、受け入れるにあたり、その人独自の言葉と出合うことは大きな助けになるようだ。出合った言葉たちが、外へとつながる扉を開いてくれるのだ。最初から本好きだった人もいれば、そもそも本など読まなかったという人もいる。しかし、本が導く世界は広く、大きく、深い。

温かい医療をめざして

サービスを支えるコミュニケーション

日下隼人＝著

定価2420円(本体2200円+税10%)

篠原出版新社 ☎03-3816-5311



医療者に、必要以上の笑顔もサービスも求めないけれど、そもそも患者は、問題や不安を抱えて医療者の前にいる、という事実だけは常に意識してほしい。最初のボタンを掛け違わないほんのちょっとした工夫から、よりよい関係性や治療への道が開かれる。本書はその過程を丁寧に説く。